



宇都宮だより

発行所
宇都宮病院
和歌山市鳴神505の4
TEL 471-1111
発行・編集：企画室

2009年4月にメキシコで新型インフルエンザの流行が確認されてから、世界的に始まった大流行ですが、いまもなお感染が拡大しています。ニュースでは新型インフルエンザの集団感染や死亡したという報道が多くなってきました。今回みなさんが一番心配されているだろう新型インフルエンザについてお話ししたいと思います。

新型インフルエンザ

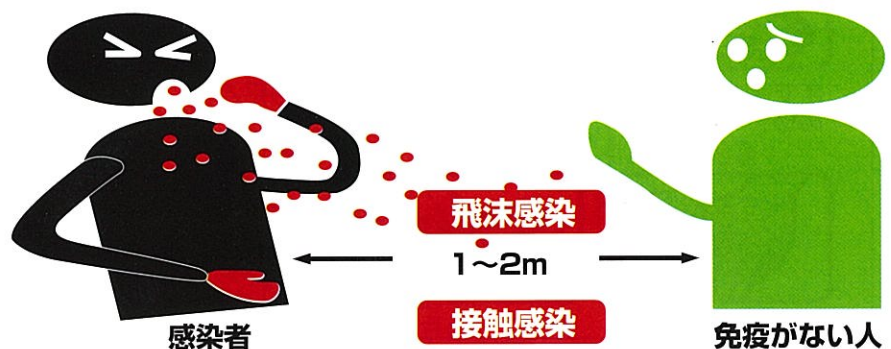
厚生労働省は、国内における新型インフルエンザの流行について10月にピークを迎え国民の約20%が感染し発症すると想定しました。ピーク時には最高で1日当たり約76万人の患者が発生すると計算されています。人口密度の高い首都圏ではさらに割合が高くなる恐れがあると想定され、また国民の半数が新型に感染する可能性や季節性インフルエンザの流行と重なる恐れもあり、健康被害が試算より大きくなる場合もあると指摘しています。今回の新型インフルエンザは弱毒性で季節型のインフルエンザとほぼ変わらないといわれています。しかし新型インフルエンザに対して高齢者の一部に免疫があるとされる（過去に流行した可能性がある）以外、ほとんどの人には免疫がありません。致死率もWHOの試算では0.45%と低いように思いますが、多くの人々が感染すればかなりの人が死亡するということになりかねません。いまワクチン等が開発されて製造が急ピッチで進められていますが、国民全員がワクチン接種出来るまでには至らないようです。そうなれば自分達で出来ること、予防が重要になってきます。

〈新型インフルエンザはどのように感染するか〉

通常のインフルエンザと同じで主な感染経路は、飛沫感染と接触感染です。

飛沫感染：感染した人の咳、くしゃみ、つばなどの飛沫とともに放出されたウイルスを健康な人が吸入することによって感染します。

接触感染：感染した人がくしゃみや咳を手で抑えた後や、鼻水を手でぬぐった後に、机やドアノブ、スイッチなどに触れると、その触れた場所にウイルスが付着しますが、その付着したウイルスに健康な人が手で触れ、その手で目や鼻、口に再び触れることにより、粘膜・結膜などを通じてウイルスが体の中に入り感染する場合があります。



新型インフルエンザの主な感染経路

インフルエンザの予防法

新型インフルエンザの予防には、通常のインフルエンザに対する下記のような取組を習慣づけておくことが重要です。

- ・咳、くしゃみの際は、ティッシュ等で口と鼻を被い、他の人から顔をそらすこと
- ・使ったティッシュは、直ちにゴミ箱に捨てること
- ・咳やくしゃみ等の症状のある人には必ずマスクを着けてもらうこと（個人が使用するマスクで最適なのは、不織布製マスクです。）
- ・咳やくしゃみをおさえて手、鼻をかんだ手は直ちに洗うこと

使用方法例



また、次の点についても心がけてください。

- ・帰宅後や不特定多数の者が触るようなものに触れた後の手洗い・うがいを日常的に行うこと
- ・手洗いは、石鹸を用いて最低15秒以上行うことが望ましく、洗った後は、清潔な布やペーパータオル等で水を十分に拭き取ること
- ・感染者の2メートル以内に近づかないようにすること
- ・流行地への渡航、人混みや繁華街への不要不急な外出を控えること
- ・十分に休養をとり、体力や抵抗力を高め、日頃からバランスよく栄養をとり、規則的な生活をし、感染しにくい状態を保つこと

正しい手洗いの方法の図



〈新型インフルエンザにかかったかもしれないと 思ったらどうしたらいいのか?〉

急な発熱とせきやのどの痛みなど、インフルエンザかもしれないと思ったら、病院にまず電話をして受診方法を聞いて下さい。(受診を希望される場合) そしてまわりの人への感染を防ぐためマスクを着用し、そして自宅から外出しないようにして下さい。

医療機関は、発熱患者の診察場所、診察時間、入り口、廊下、待合室などを、感染時に重症化する可能性のある人々と分け、リスク者の安全を確保。感染が疑われる人は、通院前に電話で医療機関に受診場所、受診時間、入り口などを確認するようにします。

新型インフルエンザ対策の運用指針 (平成21年6月19日改訂版)

		予防と受診の案内	急な発熱、せきやのどの痛み等の症状がある	症状がない	
かかりつけ医がある場合	妊娠中の人	かかりつけ医にご相談ください	かかりつけ産婦人科の受診に避け、近くの一般病院へ電話の上、指示に従って指定日時に指定場所を受診	発症前に診断することは困難ですが、感染時・感染拡大時の対応をあらかじめかかりつけ医と相談するよう推奨されています(感染時に受診する医療機関の確認、感染時に必要な薬などの確認、感染・感染拡大に備えた常備薬の備蓄など)	
	乳幼児(5歳未満)		必ず、かかりつけ医に電話で相談の上、指示に従って指定日時に指定場所を受診。他の医療機関での受診を指示される場合は、投薬など伝える情報を確認		
	じん臓に病気のある人				
	糖尿病の人				
	癌の人	呼吸器科がある病院にご相談ください	受診すべき医療機関へ電話の上、指示に従って指定日時に指定場所を受診		発症前に診断することは困難
	心臓・代謝・呼吸器に病気のある人 免疫機能不全の人				
	85歳以上の人				
上記には該当しない人	受診すべき医療機関が判らない場合	各市区町村の指定先(保健所・相談センターなど指定先)へ電話の後、指示に従って指定日時に指定場所を受診			
かかりつけ医がない場合	受診すべき医療機関が判る場合	呼吸器科がある病院にご相談ください	受診すべき医療機関へ電話の上、指示に従って指定日時に指定場所を受診	発症前に診断することは困難	
	受診すべき医療機関が判らない場合				各市区町村の指定先(保健所・相談センターなど指定先)へ電話の後、指示に従って指定日時に指定場所を受診

ワクチン

・9月4日時点での厚生労働省の方針について接種対象者の優先順位案を発表しました。

○国産ワクチン(10月下旬～)

- 1位) 医療従事者
- 2位) 妊婦と持病のある人
- 3位) 小学校就学前の小児
- 4位) 1歳未満の乳児の両親

○輸入ワクチン(12月下旬～)

- 1位) 小中高校生
 - 2位) 高齢者
- ※但し、輸入ワクチンには国産ワクチンにない添加物が含まれ、強い副作用・死亡のリスクがある

接種対象者は優先グループが約1900万人、高齢者らの次グループ約3500万人を合わせ約5400万人となる。

お願い

- ・外来診察を受けられる患者さんへ
カゼ症状(発熱・咳・頭痛など)のある方には、マスクの着用をお願いします。
- ・入院患者の面会
カゼ症状のある方の面会はお控えください。

外来診察表

	月	火	水	木	金	土
1 診	院長	冷水	院長	冷水	院長	冷水
2 診	田畑	田畑	田畑	田畑	田畑	田畑
夕 診	院長	田畑	米田	山本	冷水	

※当院ではいつでも診療可能な体制を取っております。
(診療時間以外は念のため電話のうえ来院ください。)

診療時間

午前9時～12時 月～土
午後4時～7時 月～金

※往診を希望される方は、お気軽に窓口へ申し出てください。

医療法人 久仁会 宇都宮病院

和歌山市鳴神505-4
☎471-1111(代)

診療ご案内

診療時間
午前診療 午前9時～12時
夜間診療 午後4時～7時

診療科目

内科・胃腸科・呼吸器科・循環器科
肛門科・麻酔科・放射線科

※胃及び大腸内視鏡検査の予約、
随時受付しています。

当院への交通のご案内

車利用

日宮より東へ5分

バス利用

JR和歌山駅東口より
紀伊風土記の丘行き
団地西口下車すぐ